



2009年度

# 日本マウンテンバイク協会会員のご案内

JCFマウンテンバイク競技カテゴリー

協会の活動についてのご理解、ご協力有り難うございます。  
本年も、より、皆さまのマウンテンバイク・ライフを充実できますよう各種活動を推進していきます。皆さまもマウンテンバイクでお楽しみください。  
どうぞ、会員の手続きをお願いいたします。

日本マウンテンバイク協会



2008 Kids National, Hakuba-Sanosaka Photo by: Bicycle Photos

## ■会員登録方法:

\*次の、いずれかの方法でお手続き頂けます。更新の場合も同じです。

4月1日より保険有効とするためには**3月10日まで**に、また公認大会参加の場合には各大会の申し込み締め切り日までに手続きを完了ください。

いずれの場合も申請用紙の送付が必要です。エリート競技者は写真貼付のためFAX不可

### ☆インターネット・サイトから

ウェブサイトで申込手続きを行ってください。会費納入は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンク、ペイジー決済がご利用頂けます。(初めてのご利用の場合、スポーツエントリーへの登録が必要となります)Webエントリーの場合でも申込用紙は事務局宛てご送付またはFAXでお送りください。

### ☆クレジットカードのばあい

申込書にカード番号・名義・有効期限を必ず記入の上、郵送またはFAXにてお送りください。カード有効期限は次月以降まで有効のものに限りです。(ご利用可能カード:UFJ,NICOS,DC,VISA,MASTER)

### ☆現金書留のばあい

会費とともに申込用紙をそえて、郵便局よりお送りください。

### ☆郵便振替のばあい

郵便局に備え付けの用紙にてお振り込みください。備考欄には必ず『協会会費』と明記してください。また、複数名分を一緒に振り込む場合は、必ず全員の参加者名を備考欄に明記してください。振込後、申込書を郵送またはFAXでお送りください。口座番号00180-0-364481 口座名称日本マウンテンバイク協会事務局

## ■会費

(年/毎年4月1日より翌年3月末日まで。継続も同じです)

### ☆一般会員

7,500円

会員証発行、該当イベント参加割引、自転車総合保険(傷害)、スポーツ安全保険、JCFカテゴリー認定

### ☆ジュニア会員

7,000円

会員証発行、該当イベント参加割引、自転車総合保険(傷害)、スポーツ安全保険\*該当年度13才以下の方のみ入会可能

### ☆競技カテゴリーのみ

4,000円

JCFカテゴリー認定のみ/保険などは対象となりませんので別途ご自身でご加入ください。

\*対象者は該当年度14才以上毎年12月末日の満年齢。エリート・エキスパートへの登録には、別途(財)日本自転車競技連盟登録によるライセンスが必要です。

### ☆普及・指導資格登録会員

8,500円

会員証発行、該当イベント参加割引、自転車総合保険(傷害)、スポーツ安全保険、JCFカテゴリー認定、(普及・指導者資格認定者のみ)

## ■会員特典:

会員証の発行・全国の会員と交流・主催イベントの参加料割引(該当大会)・clubjmaメーリングサービス・傷害保険/賠償責任保険加入・公認普及・指導者養成講座受講資格・公認大会参加資格

(競技登録の対象者は14歳以上(本年12月31日現在)であること。(但し全日本選手権参加資格は17歳以上)全日本選手権参加の場合、途中特別昇格の場合、エキスパート、エリートの場合は(財)日本自転車競技連盟登録が別途必要です。(財)日本自転車競技連盟(<http://www.jcf.or.jp> Tel 03-3582-3713)

(協会申込書はインターネットの場合も申請書を送付ください。またエリートの場合のみ、申込書に上半身無帽の写真(縦3cm横2.5cm)1枚をそえてください。)公認競技関係については別途[レースインフォメーション](#)をご覧ください。

## ■その他:

◆お申込は毎月8日締切、翌月1日から会員として登録となります。加入月の10日前後に会員証を郵送いたします。会員年度は毎年4月1日より翌年3月末日までです。途中入会の場合も期限は変わりません。2年目以降更新の場合には、事前に送付いたします更新案内により、毎年3月の指定日までにお手続きください。(集金代行サービスをご利用されている方への更新案内はいたしません。)

◆退会のお手続きは随時郵送、FAX、E-Mail:admin@japan-mtb.orgへの退会届により受け付けております。退会手続きがあっても保険などの手続き上残期間の返金などは出来ませんので予めご了承ください。

◆保険付き会員保障内容・自転車搭乗中に偶然の事故により本人が傷害(ケガ)を被った場合の保障。傷害補償死亡保険金800万円入院保険金(日額)2000円・協会管理下(協会主催、後援大会など)での事故により本人が傷害(ケガ)を被った場合の保障。傷害補償死亡保障金2000万円(突然死180万円)入院保障金(日額)4000円通院(日額)1500円賠償責任身体財物賠償合算1事故5億円。(詳しくはスポーツ安全保険のWebサイトなどをご参照ください: <http://www.sportsanzen.org>)保障内容の詳細につきましては、保険約款によります。不明な点はお問い合わせください。

◆個人情報個人情報について適切に保護、管理、運用、利用をいたします。これに関わり保険等の管理・履行及びこれらに付帯するサービスの実施に利用いたします。なお、本協会における個人情報の保護方針等について各登録、認定への申請をもって個人情報保護方針について理解、同意したものといたします。

## ■お問い合わせ:

Webサイト上に用紙を用意しておりますが、申込用紙が必要な方は、協会宛に90円切手を1枚同封の上、資料希望としてご請求ください。折り返し入会案内書と近日のイベント案内を送付いたします。

日本マウンテンバイク協会 〒160-0015東京都新宿区大京町21-41

TEL03-5363-3200 FAX03-5363-3201 <http://www.japan-mtb.org>



# 2009 Mountain Bike Race Information

2009 年度 JCF マウンテンバイク 競技インフォメーション (競技方法)

カテゴリー分けされた公認競技や、一般参加クラスが設定されているものもあります。各会場地それぞれの観光地、温泉などの楽しみもあります。仲間を誘ってもよりの大会にご参加ください。

## ●マウンテンバイクとは

マウンテンバイクは1970年代のはじめ、アメリカのカリフォルニア州サンフランシスコ近郊のマリン郡で誕生しました。山の中を走る自転車でその後競技が生まれ、1990年にはUCIの世界選手権大会が開催、1996年にはアトランタ・オリンピックで正式実施されました。日本にも1980年に紹介され、1988年からは全日本選手権大会が開催、1992年には全国にわたってシリーズ戦もスタートし全国的に人気を博しています。国際連盟の基準である年齢別クラスの他にマウンテンバイク競技については技術レベル別のカテゴリー制度を設け、よりよい競技大会として公認大会を構成し、優秀な競技者からは(財)日本自転車競技連盟等により、オリンピック、アジア大会、世界選手権大会、アジア大陸選手権などへの日本代表選手派遣を行っています。

## ◎クロスカントリー

オリンピックおよび世界選手権大会、ワールド・カップの正式種目として行われており、国内では全日本選手権大会、ジャパン・シリーズをはじめ数多く開催されています。起伏のある山岳、丘陵地帯に設定されたコースを、通常一斉スタートで順位を競う長距離レースです。全日本選手権、ジャパン・シリーズでは特にオリンピックフォーマットと呼ばれる1周5km以上のコースを約2時間程度周回する競技が実施されます。同じくクロスカントリーには、1周が60km以上のコースで競われる「マラソン」、長時間で競われる「エンデュランス」、タイムで競う「タイムトライアル」などもあります。

## ◎ダウンヒル

世界選手権大会、ワールド・カップの正式種目で、スキーの滑降のように山の上のスタート地点からスタートし、下のフィニッシュ地点までの個人のタイムを競います。コースにはスピード、技術それぞれ重視されたセクションが含まれ下りの総合力を試されます。

## ◎4クロス

4名の競技者により障害物のある同一コースにおいて順位を競い勝ち上がっていきます。世界選手権大会、ワールド・カップの正式種目です。

## ●ランキングについて

年間登録者にはシーズンを通じたすべての公認大会のクロスカントリー、ダウンヒルの各種目ごと、各カテゴリーについて上位者にポイントが与えられ、その中からポイント対象となる高得点獲得大会の合計ポイントによりランキングが決定します。このランキングは翌年度のカテゴリー昇降格の基準となります。国際公認大会ではカテゴリーにより別途ランキングテーブルを参照する場合があります。

## ●ジャパン・シリーズについて

全公認大会のうち、特にJ、J1大会については、「ジャパン・シリーズ」として、男女エリートでのクロスカントリー、ダウンヒルの各種目についての大会成績を、対象となる高得点獲得大会のポイント合計による、シリーズチャンピオンを決定します。この表彰については最終戦において行います。

## ●カテゴリー登録資格設定 (競技レベル別カテゴリー JCF規則ART.1.7./ART.2. 2003/1)

		2009年度基準(2010年度も同等)
男子 エリート	共通	1)UCI規定ジュニア以上の年令(2009年12月31日現在17才以上)登録者であり、
	クロスカントリー	1)2008年度ナショナル・ポイント(男子エリート)1位-70位まで。 2)2008年度ナショナル・ポイント(男子エキスパート)1-25位まで。 3)2008年度男子エキスパートより男子エリートへの既途中特別昇格者。 4)委員会特別推薦者(ジャパン・シリーズ(J、J1)でのエキスパート)
男子 エキスパート	共通	1)(財)日本自転車競技連盟登録者であり、
	クロスカントリー	1)2008年度ナショナル・ポイント(男子エキスパート)26-120位まで。 2)2008年度ナショナル・ポイント(男子エリート)71位以降。(ポイント未獲得者含む) 3)2008年度ナショナル・ポイント(男子スポーツ)1-50位まで。 4)2007年度男子スポーツよりの既途中特別昇格者。 5)委員会特別推薦者(ジャパン・シリーズ(J、J1)でのスポーツ優勝者/全日本選手権大会での優勝者、その他委員会が特に認めた者。要連盟登録)
女子 エリート	共通	1)2008年度ナショナル・ポイント(男子エキスパート)21-120位まで。 2)2008年度ナショナル・ポイント(男子エリート)51位以降。(ポイント未獲得者含む) 3)2008年度ナショナル・ポイント(男子スポーツ)1-50位まで。 4)2008年度男子スポーツよりの既途中特別昇格者。 5)委員会特別推薦者(ジャパン・シリーズ(J、J1)でのスポーツ優勝者/全日本選手権大会での優勝者、その他委員会が特に認めた者。要連盟登録)
	ダウンヒル	1)2008年度ナショナル・ポイント(男子エリート)1位-50位まで。 2)2008年度ナショナル・ポイント(男子エキスパート)1-20位まで。 3)2008年度男子エキスパートより男子エリートへの既途中特別昇格者。 4)委員会特別推薦者(ジャパン・シリーズ(J、J1)でのエキスパート優勝者/全日本選手権大会での優勝者、その他委員会が特に認めた者)
女子エリート		1)(財)日本自転車競技連盟登録者でUCI規定ジュニア以上の年令(本年12月31日現在17才以上)であること。 2)2008年度ナショナル・ポイント・ランキング(女子エリート)ポイント獲得者。 3)委員会特別推薦者

2007年度より国際基準にあわせる変更があるために、エリートへの昇格には年令制限があります。またスポーツからの昇格の際には(財)日本自転車競技連盟登録が必要になります。スポーツからの昇格資格のみが発生するので強制昇格とはなりません。(財)日本自転車競技連盟公認マウンテンバイク競技大会参加については大会会場においてのライセンスおよび会員証の提示が必要です。

年間登録者の公認競技成績は年間個人ランキングに反映され翌年度のカテゴリー決定の参考資料となります。マウンテンバイクのカテゴリー・システムは競技レベルの統一と公正で安全な大会を行うこと、選手がスポーツから順にステップアップできること、また選手強化を目的に各国のシステムを元に1992年度より導入されています。新規のマウンテンバイク競技者は順に昇格していきます。登録されたカテゴリー以外への参加は特に認められた場合を除きできません。シーズン途中での審査希望者は申請書、成績資料(任意)と共に90円切手6枚同封で申請してください。

ダウンヒル競技でのユース競技者について:ダウンヒルにおいてのみ年令に1才少ない(16才以上)場合にも、登録資格設定での成績によりエリート登録資格がある場合には、保護者の同意書がある場合のみ登録ができます。これらの競技者は国内大会に参加し、そのカテゴリーでのポイントを獲得することができますが、国際レベルの大会(全日本選手権を含む)への参加は認められません。これは、ダウンヒルという競技の特性から、特例として運用するものであり、委員会では常にこの基準についての変更を行う場合があります。競技の特性が異なるクロスカントリーでは従来通り17才以上となります。

## ●全日本選手権大会におけるカテゴリーについて

全日本選手権大会においては、UCI(国際連盟)に準じた年齢別にて競技を行います。XCOではジュニア(17-18才)、U23(19-22才)、エリート(23才以上)マスターズ(30才、40才以上)、DHIではジュニア(17-18才)、エリート(19才以上)マスターズ(30才、40才以上)での日本チャンピオンのタイトルが授与されます。女子は各総合。(タイトルは日本国籍者のみ、参加には(財)日本自転車競技連盟登録が必須)。参加選手数が設定人数に満たない場合は上位のクラスに統合されて競技し、統合されたカテゴリー内での順位およびポイントを受けます。30才以上の競技者はエリートもしくはマスターズを選択できますがマスターズを選択した場合にはその年度の世界選手権(マスターズを除く)、ワールド・カップへの参加資格は喪失します。

## ●2009年度競技規則

最新競技規則は英語仏語版:www.uci.ch、日本語版:www.jcf.or.jp(翻訳完成後)で入手できますので参照してください。

●ポイント・ランキング・テーブル

順位	全日本選手権			J	J1	J2		J3 全て
	Elite	U23	Junior Master	All Categories	All Categories	Elite	Sport Expert	J/J1 DH 予選 XCT
				D	E			
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	200	150	90	175	150	75	100	20
2	170	120	80	160	130	60	85	17
3	150	100	70	150	120	50	75	15
4	135	80	60	135	115	45	65	13
5	130	60	54	125	110	41	60	11
6	125	50	48	115	106	39	55	10
7	120	45	44	110	102	37	50	9
8	116	40	40	105	98	35	48	8
9	109	36	36	100	94	33	46	7
10	105	32	32	95	90	31	44	6
11	101	30	30	92	87	30	42	5
12	97	28	28	89	84	29	40	4
13	92	26	26	86	81	28	39	3
14	89	24	24	83	78	27	38	2
15	86	22	22	80	75	26	37	1
16	83	20	20	78	72	25	36	
17	80	18	18	76	69	24	35	
18	77	16	16	74	66	23	34	
19	74	14	14	72	63	22	33	
20	71	12	12	70	60	21	32	
21	68	10	10	68	58	20	31	
22	65	9	9	65	56	19	30	
23	61	8	8	61	54	18	29	
24	59	7	7	59	52	17	28	
25	57	6	6	57	51	16	27	
26	55	5	5	55	50	15	26	
27	54	4	4	54	49	14	25	
28	53	3	3	53	48	13	24	
29	52	2	2	52	47	12	23	
30	51	1	1	51	46	11	22	
31	50	以降 1	以降 1	45	45	10	21	
32	49			44	44	9	19	
33	48			43	43	8	18	
34	47			42	42	7	17	
35	46			41	41	6	16	
36	45			40	40	5	15	
37	44			39	39	4	14	
38	43			38	38	3	13	
39	41			37	37	2	12	
40	39			36	36	1	11	
41	37			35	35	以降 1	10	
42	36			34	34		9	
43	35			33	33		8	
44	34			32	32		7	
45	33			31	31		6	
46	32			30	30		5	
47	31			29	29		4	
48	30			28	28		3	
49	29			27	27		2	
50	27			26	26		1	
51	25			25	25		以降 1	
52	24			24	24			
53	23			23	23			
54	22			22	22			
55	21			21	21			
56	20			20	20			
57	19			19	19			
58	18			18	18			
59	17			17	17			
60	16			16	16			
61	15			15	15			
62	14			14	14			
63	13			13	13			
64	12			12	12			
65	11			11	11			
66	10			10	10			
67	9			9	9			
68	8			8	8			
69	7			7	7			
70	6			6	6			
71	5			5	5			
72	4			4	4			
73	3			3	3			
74	2			2	2			
75	1			1	1			
-	以降 1			以降 1	以降 1			

□ポイント・テーブルの参照

国内公認大会における各カテゴリー／クラス／順位によって与えられるポイントが異なります。各大会、各カテゴリー／クラスで受けられるポイントの参照は次の表の通りです。全日本選手権のみUCI年齢カテゴリー（ジュニア、U23、シニア・エリート、マスター）の順位によるポイントが与えられます。参加選手数が設定人数に満たない場合は上位のクラスに統合されて競技が行われ、統合されたカテゴリー内での順位によりポイントが与えられます。また、全日本選手権大会、ジャパン・シリーズ(J、J1)でのダウンヒル予選および、XCTでも順位に応じてポイントが加算されます。(必ず実施されるということではありません)  
同ポイント獲得者での順位付けは次の優先順によります。1:対象大会1大会の最高獲得ポイント順、2:集計直近獲得ポイント順。

大会	カテゴリー	ポイント・テーブル参照欄
全日本選手権	エリート	A
	U23	B
	ジュニア	C
	マスター	
J	全カテゴリー	D (ジュニアについてのみC)
J1	全カテゴリー	E
J2	エリート	F
	エキスパート	
	スポーツ	G
J3	全カテゴリー	H
J/J1	DH 予選	
	XCT	

●クロスカントリー競技について(XCO)

全日本選手権J、J1では、原則的に「クロスカントリー・オリンピック」を実施します。ステー징(召集)は最新ランキング(国際優先)により行います。先頭競技者から(ラップタイム+80%以上)遅れた競技者は設定されたフィニッシュ・レーンにより除外されます。周回遅れの選手も同様。除外された競技者はリザルトにおいては不足周回により順位をつけられますが、コミッセールにより確認されない競技者はDNFとなり、順位、ポイントは与えられません。先頭者フィニッシュ後、設定時間が経過した時点でフィニッシュが撤収される場合があります。参加選手数が設定人数に満たない場合は上位カテゴリーに統合されて競技を行い統合されたカテゴリー内での順位ポイントを受けます。大会によりエリートについては前日にXCT(タイムトライアル)が行われ、ポイント対象となる場合があります。

●ダウンヒル競技について(DHI)

原則として男女エリート・ダウンヒル競技は最新ランキング順でクオリフィケーション(予選)を行い、男子上位30名、女子上位10名でファイナル(決勝)を行います。(参加人数により行われない場合があります)ファイナル進出者以外はクオリフィケーションでの順位となります。他のカテゴリーは1回の走行タイムで順位を決定します。参加選手数が設定人数に満たない場合は、上位のカテゴリーに統合されて競技し、統合されたカテゴリー内での順位、ポイントを受けます。

●2009 年度アンチドーピング規則

TUE(治療目的使用に係る除外措置)をはじめ多くの改定点がありますので詳しくは日本アンチ・ドーピング機構ホームページ <http://www.anti-doping.or.jp> など参照してください。

●チーム登録およびランキング

マウンテンバイク小委員会では、各チームの評価基準となり、各チームの目標と健全な発展、活発な活動を促進するため、国内チームによる年間チームポイントランキングを実施します。チーム登録には最低1名の該当年度エリート登録競技者が必要です。これらチームは国内の公認大会に参加する目的で競技者と管理者で構成されたものとし、登録については別途行う必要があります。チームランキング問い合わせ: 日本マウンテンバイク協会 TEL 03-5363-3200

●国際大会について

◆世界選手権大会、アジア大陸選手権大会: 次の様な選考基準から上位基準より順に選考された強化指定選手等より代表選手団として参加します。1)全日本選手権における優勝、2)該当年ワールド・カップ 10 位以内獲得、3)該当年UCIランキング 20 位以内、4)該当期間内ジャパン・シリーズでの優勝者、ランキング上位者、5)委員会推薦者。該当期間内選考選手数等詳細については追って発表予定。  
◆ワールド・カップ: 国際ランキングで最低 20 ポイントを持つ各国エリート選手のみを対象としたワールド・カップについての参加は各国連盟、およびUCIチームのみを通じて行われます。参加については事前に国際ライセンスの取得が必要です。

◆世界マスターズ選手権大会、その他のUCI国際公認大会: 事前に国際ライセンスの取得のうえ各大会に申請してください。

◆国際ライセンス申請方法: 各自所属している都道府県連盟を通じて国際ライセンスの申請を行います。国際ライセンス発行については申請書とともに手数料 10,000 円と写真 2 枚(縦 4.5cm、横 3.5cm)が必要です。国際登録問い合わせ:(財)日本自転車競技連盟 TEL03-3582-3713 国際大会カレンダー:<http://www.uci.ch>

●コミッセールについて

公認大会にはコミッセール(公認審判員登録者)が競技の運営監督などを行っています。公認大会における公正な運営という重要な任務ですが、地域での普及活動にも活用できると考えられます。興味のある方はぜひ講習会などを受講してください。

●2009 年度各カテゴリー一別登録資格者(決定分)20090110 現在

XCO/Elite Men(エリート1-70)辻浦圭一(奈良),山本幸平(新潟),小野寺健(北海道),千田尚孝(愛知),山本和弘(東京),小笠原崇裕(長野),門田基志(愛媛),竹谷賢二(千葉),平野星矢(新潟),山口孝徳(長野),竹之内悠(京都),江下健太郎(福岡),齊藤亮(長野),柴田健太郎(大分),日野林昂志郎(愛媛),藤本弥之助(山口),Cooper Dylan(AUS),山田大五郎(福岡),大江良憲(山形),山辺誠司(埼玉),神谷知明(東京),合田正之(埼玉),合田啓祐(香川),山中真(愛知),佐藤誠示(山梨),畦地利哉(岐阜),中村松根(京都),松本駿(長野),小林聖(長野),船岡洋(兵庫),山本朋貴(滋賀),伊澤優大(滋賀),亀井潤一(愛知),石田聡(山口),久保伸次(京都),小林義典(東京),伊藤元紀(愛知),多端亮(奈良),代田和明(千葉),梅村昌孝(福井),佐藤賢寿(東京),遠藤琢也(岡山),小野良太(兵庫),北島篤志(東京),大西健一郎(京都),佐藤あきら(愛知),佐藤航太郎(神奈川),國吉正紀(石川),初山幸男(栃木),毛利元(愛知),大橋徳高(山梨),細井陽介(広島),中間森太郎(埼玉),村田隆(長野),須藤大輔(千葉),中山和也(長野),入江克典(大阪),橋田淳一郎(東京),竹田佳行(埼玉),村山一成(長野),後藤清作(島根),栗林和生(愛媛),霜山誠一(福島),井本京吾(熊本),橋本賢毅(東京),鈴木智之(神奈川),鈴木祿徳(石川),多田尚史(東京),三上和志(埼玉),宇田川聡仁(静岡),エキスパートより昇格1-25:藤森大輝(香川),小田島貴弘(神奈川),西岡亮祐(愛媛),長里諭(愛知),井上雅文(大阪),野田陽一(栃木),野寄英樹(東京),石井宗徳(愛媛),真弓力(三重),濱崎正剛(岡山),鷹野剛久(愛知),大橋尚哉(千葉),新美憲弘(愛知),中根肇(愛知),田口アツシ(愛知),上野亮(愛媛),松本文秀(北海道),平井啓資(東京),叶英樹(福島),古郡キヨシ(富山),古谷利行(埼玉),山田夏樹(北海道),畦地宏紀(石川),古崎潤(大阪),水谷祐太(広島),年度特別昇格:江藤浩一(岐阜),佐々木文吾(大阪),石黒大樹(山形),小坂正則(長野),鈴木中良(東京)

XCO/Elite Women(ポイント獲得者),山崎由香里(長野),矢沢みつみ(山梨),田近郁美(岐阜),深井薫(大阪府),重兼みゆき(愛媛),山本佳苗(岡山),西森美子(愛媛),光田真基(三重),飯塚朋子(大阪府),笹本みき(山梨),早瀬美希(香川),伊坂和花(兵庫),真下正美(神奈川),三浦美穂(福岡),川崎路子(神奈川),佐々木優子(茨城),丸山八智代(長野),山本萌(北海道),鳥袋伶(東京)

XCO/Expert Men(エキスパート26-120),吉澤博(京都),畔上大地(長野),山田智(東京),佐藤健太郎(栃木),日野林雄大(愛媛),高橋雅志(愛媛),山根貴一(福井),浜久之(長野),藤本信和(長野),西村建治(広島),世田仁(東京),安代広行(愛媛),後呂有哉(愛知),酒井孝典(大阪),野口一成(静岡),矢野大介(兵庫),野澤和紀(埼玉),伊藤敦弘(宮城),武田秀明(長野),岡三津夫(大阪),奥田 晃久(愛知),佐宗広明(神奈川),鈴木博信(鹿児島),永野祐順(富山),西尾滋記(愛媛),名坂竹彦(静岡),丸山喬嗣(愛知),堺章吾(神奈川),谷本浩志(広島),高杉忍(東京),宮本光司(茨城),田沼邦彦(埼玉),青野哲也(茨城),市川哲也(広島),梅澤俊之(大阪),正木史史(兵庫),小川俊充(岡山),中込辰吾(長野),岡本和也(栃木),田近雄一(岐阜),中村開(愛知),沢田時(滋賀),木下聡之(大阪),安藤宏(長野),長里雅也(愛知),今井智昭(愛知),越智直文(神奈川),Darren Reid(京都),松井良平(長崎),鈴木祐一(神奈川),稲垣隆司(埼玉),小野寺寛之(埼玉),江部敏(新潟),山西健司(埼玉),足立丈夫(神奈川),羽生田康雄(福岡),田谷真樹(神奈川),石田岳大(鳥取),佐藤博伸(長野),松井正史(京都),五味隆登(東京),平野正博(茨城),石山恭央(長野),日野林一樹(愛媛),酒居良和(広島),星慎一(神奈川),西垣内裕治(東京),都築正浩(愛知),安達靖(愛知),吉田唯(岡山),浅田知寿(愛媛),大野裕康(三重),山中晴彦(茨城),多治見智高(東京),筋野俊昭(東京),石井裕太(愛媛),RiceMichael(東京),桑原武哉(神奈川),川崎隆志(神奈川),大橋正明(愛知),木山公志(愛媛),矢野卓也(京都),大類正洋(神奈川),山田豪(千葉),依田卓也(東京),吉田聡(千葉),金森修一(奈良),高野芳映(福井),山田主(長野),佐藤真一(神奈川),高橋勇希(東京),松本賢治(岐阜),小杉誠(愛知),織田修平(北海道),三田雅之(大阪),エリートより71-:柏崎裕紀(群馬),國分圭二(三重),澤田雄一(長野),野田拓司(佐賀),衣本始司(兵庫),河西稔(山梨),太田直秀(愛知),福田宏夫(栃木),谷口知司(東京),横山湖(静岡),赤塚剛司(三重),西村正敏(岐阜),棟保祐介(滋賀),木村季之(愛知),安間常雄(愛知),光山明(茨城),NA SANG HOON(KOR),佐藤貴明(神奈川),MARK PARKER(長野),中江川純(神奈川),横澤太(愛知),色川浩樹(茨城),坂本昌良(茨城),望月克彦(静岡),スポーツより昇格1-50:安藤優太(静岡),榊泰将(愛知),谷淳一(東京),西山俊寿(長崎),前田公平(東京),松嶋太一(東京),松尾光浩(東京),水谷幸隆(三重),赤坂佳紀(栃木),増田憲彦(神奈川),小泉信宏(兵庫),各務宗仁(愛知),大橋優(大阪),日和田広次(兵庫),平井孝(静岡),菅野邦明(愛媛),松本公佑(神奈川),榎本一輝(東京),藤原友秀(兵庫),中原義貴(大阪),塩見学(東京),紫芝智志(愛知),山田拓史(大阪),中村晃裕(大阪),富樫雅暢(茨城),佐藤 伸一(東京),山本博暁(宮城),井上益夫(兵庫),伊藤美智也(三重),宮田敬一(岡山),佐久間康(神奈川),松田清(神奈川),岩田幸廣(東京),荒井乃輔(神奈川),武市佳人(東京),常原圭介(山口),桂潤(愛知),野永健宏(東京),有持 真人(神奈川),竹本颯太(愛媛),松山晋也(長野),坂本淳也(大分),清水川辰(秋田),滝下泰民(神奈川),二反田雄一郎(長野),原良純(大阪),根本佑(山形),山口公一(東京),宇都木実(静岡),青波政洋(愛媛),小佐々昌典(福岡),年度特別昇格:田谷真樹(神奈川),根本佑(山形),沢田時(滋賀),佐藤博伸(長野)

DHI/Elite Men(エリート1-50),安達靖(愛知),内嶋亮(東京),向原健司(大阪),永田雄也(神奈川),井手川直樹(広島),柴田幸治(神奈川),金子真吾(長野),青木卓也(東京),小山航(長野),和田良平(大阪),大島礼治(兵庫),門脇祥(新潟),HADEN Glenn(神奈川),栗瀬裕太(大阪),清水一輝(愛知),阿藤寛(大阪),塚本岳(長野),竹

本将史(東京),河合良紀(三重),伊藤良高(愛知),飯田隆彦(東京),櫻井孝太(愛知),井本はじめ(兵庫),浅野善亮(愛知),黒沢大介(埼玉),赤堀吉功(岐阜),兼子雄一郎(愛知),高橋唯之(福島),三山幸幸(石川),武井裕緒(東京),伊藤康喜(東京),三輪和弘(神奈川),戸田尚哉(滋賀),黒川陽二(石川),瀧野厚志(静岡),東裕二郎(石川),門脇佑仁(新潟),萩原信之(埼玉),鍋島健一(福岡),小野浩二(静岡),野口寛洋(岐阜),三輪隆文(福岡),三木洋介(埼玉),山口弘貴(岐阜),望月克彦(静岡),大野良平(岐阜),三宅和之(埼玉),三谷賢一(京都),山崎勉(栃木),辻本秀信(大阪),エキスパートより昇格1-20:九島勇気(神奈川),内藤順仁(静岡),九島賢次(神奈川),有村俊彦(神奈川),宮本祐太郎(神奈川),本村貴之(福岡),牧野将勲(兵庫),井上曉(大阪),蔭山智彦(大阪),山田基史(愛知),志賀孝治(山口),清水淳(神奈川),吉田昭雄(兵庫),湯本大行(神奈川),斎藤邦一(東京),濱田雄二(愛知),阿部吉邦(大阪),遠藤和光(東京),河合将宗(京都),松田敦司(神奈川),年度特別昇格:加納慎一郎(静岡),東裕一郎(石川)

DHI/Elite Women(ポイント獲得者),飯塚朋子(大阪府),中川ヒロカ(大阪府),富田敬子(奈良),大西雅美(兵庫),服部良子(神奈川),坪本仁美(富山),清水友香(神奈川),宮下瑠衣(兵庫),渡辺キリ(長野),末政実緒(兵庫),篠原美智恵(神奈川),池田恭子(東京),尾芦實子(東京)

DHI/Expert Men(エキスパート21-120),岡修平(大阪),山崎豊(群馬),野武雄一朗(兵庫),松浦元気(東京),岩崎大(神奈川),小川信一郎(新潟),新沢武雄(長野),大住太郎(群馬),天野雅人(愛知),白井了史(神奈川),坂中栄三(富山),小川貴生(兵庫),若瀨史彦(岩手),高橋弘幸(新潟),Mark Fielding(埼玉),横山政勝(神奈川),片田亮(東京),実川ともを(東京),佐多健太郎(埼玉),山元春雄(富山),隅田真(広島),山中剛(大阪),山本晃弘(静岡),岩崎篤士(茨城),若林正幸(東京),荻島聡(埼玉),西平孝継(大阪),窪田正宏(愛知),中村克哉(福井),山口翔(愛知),深見直人(神奈川),鎌田勝(大阪),谷弘昭(富山),井上貴裕(大阪),山田哲教(愛知),仲田正次(埼玉),今中伸介(山梨),池澤誠(栃木),新居俊二(京都),朝倉幸雄(兵庫),大窪貴之(兵庫),池田剛彦(東京),大熊健敬(東京),井関猛(滋賀),倉口大(大阪),鈴木悟史(石川),新井英行(埼玉),下川俊介(高知),伊澤一嘉(宮西),山田典秀(岐阜),都筑洋一(岐阜),幅和貴(愛知),大西英二(岐阜),竹正太郎(富山),Park Jun Sung(KOR),岡野将之(東京),神谷敏行(愛知),大村寿男(栃木),今井一彦(栃木),松木貴司(広島),藤村浩臣(山口),田中洋(大阪),中村謙吾(富山),准田一磨(兵庫),山口史明(千葉),石立守利(東京),Kang Tae Hyeok(KOR),深堀俊之(埼玉),飯間裕一郎(大阪),堤直樹(岐阜),竹中康幸(岐阜),牛場丈郎(愛知),高篠博久(福岡),中田幸伸(富山),高見賢(神奈川),関誠利(宮城),鈴木克尚(千葉),沼川恭誌(東京),岩田尚久(大阪),坂口勝(愛知),武嶋嘉道(神奈川),谷口晴彦(石川),片田浩司(兵庫),上杉俊輔(大阪),梅田武男(兵庫),山田恭太郎(愛知),池澤宜昭(栃木),福田佑二郎(東京),松山博太(石川),邑本修平(大阪),谷弘昭(千葉),金子博文(富山),喜安祥隆(愛媛),前瀬和顕(富山),齋藤修(栃木),湯浅俊和(富山),佐藤守(宮城),中山直人(富山),石川樹(東京),田村繁貴(静岡),エリート51-:藤田翔也(静岡),楮本哲也(兵庫),竹内豪(神奈川),河津英樹(愛知),高羽英士朗(愛知),谷史朗(奈良),波多野真弘(愛知),宮本光司(茨城),神田勝秀(神奈川),平林剛(長野),丸山弘起(長野),長谷川博一(富山),高松健二(兵庫),植田篤(大阪),荒金知史(大阪),入江大介(京都),河内仙陽(神奈川),成島紀晶(茨城),山本達郎(愛知),若手信(和歌山),川口悟司(埼玉),スポーツより昇格1-50:山田貴之(静岡),小坂久(大阪),唐木雅文(長野),栗田高夫(静岡),植村浩希(東京),太田匠(静岡),三浦卓也(神奈川),二ノ宮司(兵庫),阿部幸高(神奈川),田上幸一(熊本),白井豊土(大阪),井本夏海(兵庫),山内健太郎(神奈川),勝山裕太(大阪),小瀬悠真(東京),村山浩基(神奈川),増田恭隆(東京),西之辻健(大阪),窪田利博(福井),西本丈晴(埼玉),秋山一道(新潟),増澤拓也(茨城),山田雄平(愛知),武居宏治(神奈川),有田由高(徳島),小林原生(東京),池上洋(東京),仲雅康(大阪),池田朋隆(神奈川),山崎義明(埼玉),西村修二(神奈川),木村光好(北海道),高橋寛彰(埼玉),寺島毅(愛知),川村浩明(宮城),藤井康平(長野),浅井宏充(静岡),山本智裕(福井),江ノ敏昭(京都),藤井敏彦(大阪),高野欽司(熊本),山田賢作(広島),渡邊圭亮(東京),後関卯辰(群馬),石橋聡(神奈川),前田卓志(高知),山村知典(神奈川),池田朋隆(京都),佐藤大雅(東京),中川正太郎(新潟),年度特別昇格:岡野将之(東京),神谷敏行(愛知),太田匠(静岡),川村浩明(宮城)

\*各エキスパート登録資格についてはスポーツからは昇格資格のみが発生し強制昇格ではありません。申請時に選択してください。



(財)日本自転車競技連盟 事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館 TEL 03-3582-3713 (10:00-17:00) http://www.jcf.or.jp

日本マウンテンバイク協会 JCF 競技事務局 〒160-0015 東京都新宿区大京町21-41 TEL 03-5363-3200 (11:00-17:00) http://www.japan-mtb.org admin@japan-mtb.org